

岡山県津山市から 化石獣類が発見された

河合正虎

はじめに

津山市から獣骨の化石が発見されたというので 広島大学今村外治教授の一行と共に現地を踏査した。ここに概要を述べるにあたり 資料を提供して下さいた広島大学ならびに岡山大学の方々 現地においてご便宜をいただいた津山市社会教育課・教育委員会ならびに文化財保護委員会の方々 化石の保護に努め また調査に協力された津山西中学校理科研究班の先生および学生諸君に厚くお礼を申し上げます。

化石の発見と調査までの経過

8月4日に津山西中学校3年生大上博君は 貝化石を採集中に巨大な獣骨の存在に気付き 金谷先生に報告した。これが第1の化石である。津山市では直ちに岡山大学に連絡された。8月20日 岡山大学沼野忠の助手は 産地・産状を調べた化石の見取り図を作り 広島大学今村教授に報告された。8月21日には この化石が発見されたことが一斉に新聞(地方版)に掲載されるにおよび見物人が黒山をなしたという。翌22日 津山市南中学校3年生横山一也君は さらに他の1体を発見した。これが第2の化石である。

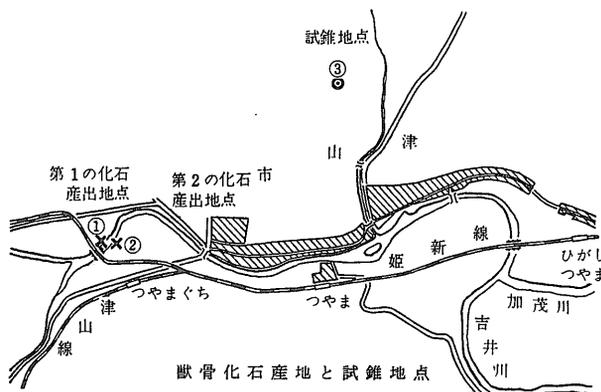
岡山大学からの知らせにより 今村教授は9月8日に現地を踏査された。本調査には岡山大学および地質調査所広島駐在員事務所が参加した。そのメンバーは次の通りである。

広島大学: 今村外治教授 中野光雄助手 高橋由美子
(大学院学生)

岡山大学: 大江二郎教授 沼野忠の助手
地質調査所: 広島駐在員 河合正虎技官

獣骨の化石について

産地: 津山市西松原吉井川川床 ここは吉井川にかかった姫新線鉄橋から東へ約100mの下流の北岸に第1の化石が 鉄橋から東へ約200mの南岸に 第2の化石がある。第1図 Loc. 1・2及び3がその地点で 写真1は 第1から第2の地点を 写真2は最初の発見者と化石の全体の広がりを 写真3は第2地点から第1地点をのぞんだものである。川中の者は計測中の今村教授らと西中学理科研究班員らである。



化石: 化石はいずれも水中にあるものでじゅうぶんな調査ができなかったのは遺憾であった。第2図は第1化石の見取り図を示す。これは沼野助手のスケッチを修正したものである。本調査において骨片が若干さらに発見され 追加して記録された。ただし 水量は8月20日より多かった。第2の化石の見取り図は第3図のとおりである。第2図第1化石の頭部は 今回左右ほぼ対称であることがわかった。見取り図に示されるように 肩・腰・足に当たる部分が示されていないので 陸棲か海棲の動物のいずれかも明りようでないが今村教授は 海棲動物と推定されている。

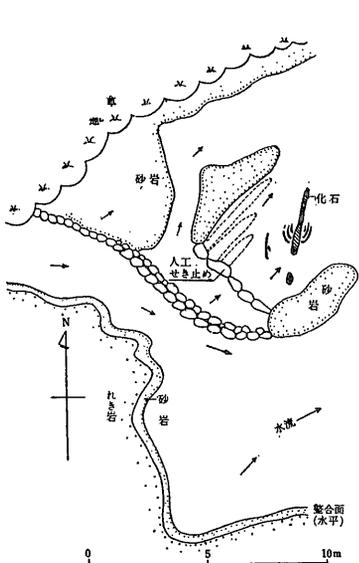
化石産出の層準について

化石はいずれも泥質砂岩中に埋蔵される。この泥質砂岩中には多くの半鹹半淡棲化石が含まれ 第1化石の頭部横には *Osirea* sp. が認められた。明らかに勝田層群中の出雲此砂岩層である。この地層は津山統と呼ばれる地層で 今村教授の備北層群に当たり 中新統中期のものである。化石産出の10~20cm上には細礫岩があらわれ 写真1~3に見られるようにほとんど水平で上流にひろがっている。第4図に津山市衆楽園西側(第1図 Loc. 3)の試錐柱状図を参考のために掲げた。

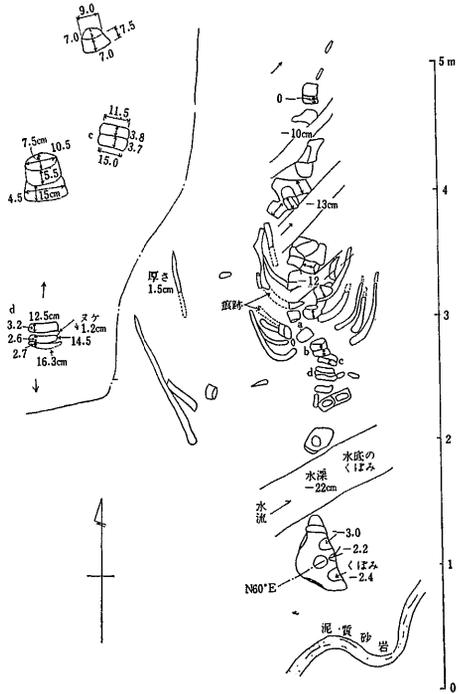
むすび

今回の調査では 化石が何であるかを明りようにすることができなかったのは残念である。見取り図に示されるように 多くの骨格が残されているし しかも同種の化石と見られるものが2体であることは 採掘によって原形に復原することはある程度可能である。早急に発掘して研究されることをのぞむものである。幸いに地元では発掘に対する熱意が高く その保護に万全を傾け また早急に陳列・観覧・研究のために尽力される意向であるといわれる。広く古生物学者の参加尽力を心から望むものである。

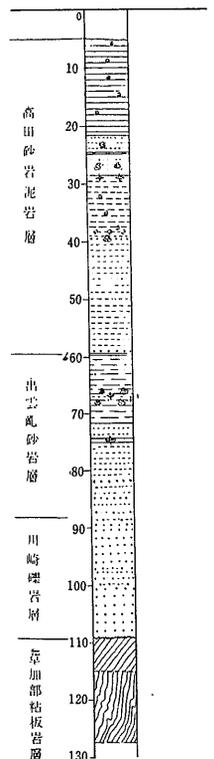
(筆者は 広島駐在員事務所長)



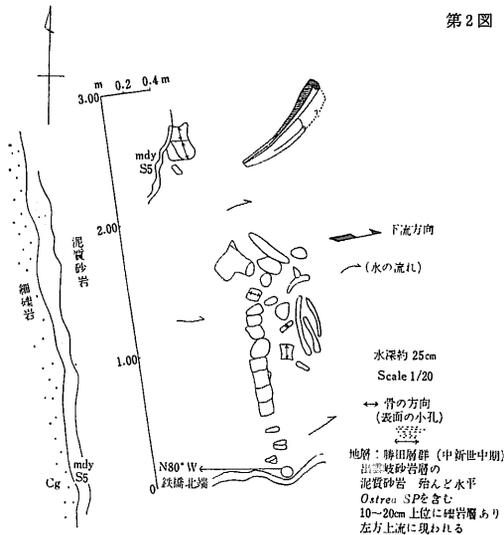
第1図 見取図
津山市西松原吉井川床
地層は第三紀中新統中期の砂岩
れき岩層（沼野 原図）



第2図 Loc. 1. 獣骨産状概測図
産地：津山市西松原吉井川岸
（姫新線鉄橋下流約100m北岸）
発見者：津山市西中学3年生 大上博
発見年月日：1962年8月4日
概測日および年月日：1962年8月20日 9月8日
概測者：（原図）沼野・（修正）今村・中野・
大江・沼野・高橋・河合・（整理）沼野



第4図 津山市津山楽園
西試錐柱状図
（試錐・安東建設）



第3図
Loc. 2. 産地：Loc. 1. に同じ（姫新線鉄橋下流約200m南岸）
発見者：津山市南中学校3年生 横山一也
発見年月日：1962年8月22日
計測原図：今村・大江・中野・沼野・河合・高橋



① 第1の化石の調査と発見者 右方に頭部 左方に尾部がある



② 第1地点から第2地点を望む 矢印は化石を計測中の今村教授



③ 第2地点から第1地点を望む 左方前方の第1地点と鉄両端と橋はほぼ一直線をなす